

Cisco IOS サーバ ロード バランシング : 実サーバの設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ループバックアドレスの設定](#)

[AIXまたはSolaris UNIXでのループバックアドレスの設定](#)

[Windows NT 4.0のループバックアドレスの設定](#)

[Windows 2000でのループバックアドレスの設定](#)

[デフォルトルートの削除](#)

[デフォルトルートを削除する手順](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco IOS® のサーバ ロード バランシング (SLB) のディスパッチ モードで使用する実サーバの設定について説明します。SLB のディスパッチのモードは、MAC アドレスベース モードおよびループバック アドレスベース モードという名でも知られています。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

ループバックアドレスの設定

Catalyst 6000でSLB機能を設定した後、各実サーバに一意のループバックデバイスまたはループバックインターフェイスのエイリアスを設定する必要があります。この設定は、サーバファーム内の各マシンに実際の仮想サーバと同じIPアドレスを付与するために必要です。宛先の実サーバは、自身の一意のアドレスに対してサーバが応答するのと同様に、エイリアスアドレスを持つクライアントに直接応答できます。このセクションでは、AIX、Solaris、Windows NT 4.0、およびWindows 2000のループバックアドレスを設定する手順について説明します。

AIXまたはSolaris UNIXでのループバックアドレスの設定

AIX UNIXでifconfig lo0エイリアスVSERVER_IP_ADDR NETMASK 255.0.0.0コマンドを使用して、ループバックアドレスを設定します。

Solaris UNIXでifconfig lo0:1 VSERVER_IP_ADDR 127.0.0.1 UPコマンドを使用して、ループバックアドレスを設定します。

Windows NT 4.0のループバックアドレスの設定

次のステップを実行します。

1. [Start] > [Settings]を選択します。
2. [コントロールパネル]を選択し、[Network]をダブルクリックします。または、[ネットワークネイバーフッド]アイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択します。[Network Control Panel]が表示されます。
3. [Adapters]をクリックし、次の手順を実行します。[MS Loopback Adapter]を選択し、[OK]をクリックします。プロンプトにインストールCD-ROMまたはフロッピーディスクを挿入します。[Finish]をクリックし、インストールを完了します。[Network Control Panel]が再度表示されます。
4. [Protocols] をクリックし、次の手順を実行します。[TCP/IP Protocol]を右クリックし、[Properties]をクリックします。[MS Loopback Adapter]を選択し、[OK]をクリックします。[IPアドレスを自動的に取得する]の選択を解除します。ネットマスク 255.0.0.0 でVServer/Loopback IP アドレスを割り当てます。

Windows 2000でのループバックアドレスの設定

次のステップを実行します。

1. [マイコンピュータ]アイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択します。[システムのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。
2. [ハードウェア]タブを選択し、[ハードウェアウィザード]をクリックします。[Hardware Installation]ウィザードが表示されます。
3. MSループバックアダプタを追加します。次のステップを実行します。[next] をクリックします。[デバイスの追加/トラブルシューティング]を選択します。[next] をクリックします。Windowsプラグアンドプレイでシステムを確認し、[新しいデバイスの追加]を選択します。[next] をクリックします。No, I want to select the hardware from a list を選択します。[next]

をクリックします。Network Adapters をクリックして、Microsoft listing に移動します。
[Microsoft Loopback Adapter]を選択し、[Next]をクリックします。[Finish] をクリックします。

4. ネットワーク接続ウィザードを使用して、ループバックアダプタの設定を編集します。次のステップを実行します。新しいLAN接続の名前を「loopback」に変更できます。新しい接続を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。追加でバインドされたプロトコル (MS ネットワーキング、ファイルと印刷の共有など) の選択を解除します。[インターネットプロトコル(TCP/IP)]をダブルクリックします。[IPアドレスを自動的に取得する]の選択を解除します。ネットマスク 255.0.0.0 で VServer/Loopback IP アドレスを割り当てます。

デフォルトルートの削除

一部のオペレーティングシステムでは、この新しいループバックエイリアスに関連してデフォルトルートが作成されます。IPルーティングが正常に動作するには、デフォルトルートを削除する必要があります。

デフォルトルートを削除する手順

次の手順を実行します。

1. 各実サーバ上に余分なルートがないかを確認します。AIX、Solaris、Windows NT 4.0、およびWindows 2000では、netstat -rnコマンドを使用します。
2. Gateway Address カラムの下でループバック アドレスを検索します。余分なルートがある場合、ループバックアドレスは2回表示されます。netstat -rnコマンドの例を次に示します。ループバックアドレス(9.67.133.158)は2行目と8行目の両方に表示されます。

NETWORK Address	Netmask	Gateway	Interface	Metric
0.0.0.0	0.0.0.0	9.67.128.1	9.67.133.67	1
9.0.0.0	255.0.0.0	9.67.133.158	9.67.133.158	1
9.67.128.0	255.255.248.0	9.67.133.67	9.67.133.67	1
9.67.133.67	255.255.255.255	127.0.0.1	127.0.0.1	1
9.67.133.158	255.255.255.255	127.0.0.1	127.0.0.1	1
9.255.255.255	255.255.255.255	9.67.133.67	9.67.133.67	1
127.0.0.0	255.0.0.0	127.0.0.1	127.0.0.1	1
224.0.0.0	224.0.0.0	9.67.133.158	9.67.133.158	1
224.0.0.0	224.0.0.0	9.67.133.67	9.67.133.67	1
255.255.255.255	255.255.255.255	9.67.133.67	9.67.133.67	1

3. ループバック アドレスが表示されている、各行のネットワーク アドレスを調べます。サーバを適切に通信させるには、一般的なマルチキャスト ネットワーク アドレスを参照する必要があります。マルチキャストネットワークアドレスは、例の8行目にあります。追加のデフォルトルートを削除する必要があります。これは、ネットワークアドレスがクラスターアドレスと同じ最初の桁で始まり、その後でゼロが3つ続くルートです。この例では、追加ルートは2行目にあり、ネットワークアドレスは9.0.0.0です。よく知られたマルチキャスト ネットワーク アドレス

224.0.0.0	224.0.0.0	9.67.133.158	9.67.133.158	1
自動的にインストールされたデフォルト ルート				
9.0.0.0	255.0.0.0	9.67.133.158	9.67.133.158	1

4. 余分なルートが見つかった場合は、SLB仮想サーバと適切に通信できるように、余分なルートを削除する必要があります。各プラットフォームの手順を次に示します。AIXまたはSolarisでは、route delete -net NETWORK_ADDRESS CLUSTER_ADDRESSコマンドを使

用します。たとえば、`route delete -net 9.0.0.0 9.67.133.158`Windows NT 4.0またはWindows 2000では、コマンドプロンプトで`route delete NETWORK_ADDRESS CLUSTER_ADDRESS`コマンドを発行します。たとえば、`route delete 9.0.0.0 9.67.133.158`注：Windows NT 4.0およびWindows 2000を使用している場合は、サーバを再起動するたびに余分なルートを削除する必要があります。

[関連情報](#)

- [dispatched モードの HTTP プローブで IOS サーバのロードバランシングを設定する方法](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。